



景観重点整備地区 「一番町三島駅前通り地区」 を指定しました

都市計画課 ☎ 983・2631

市では特に景観の形成を図る必要がある地区を「景観重点整備地区」として指定しています。無電柱化にあわせて、7地区目の景観重点整備地区として一番町三島駅前通り地区を指定しました。景観重点整備地区内で建築・改築・広告物などの表示・外観の変更などを行う場合は届出が必要です。詳細は市ホームページをご確認ください。



基本目標

三島で一番！の出会いを大切に
～一番のにぎわいを感じるまち並み、
愛染院跡や楽寿園の
歴史・文化が織りなす景観づくり～

◀一番町三島駅前通り地区の対象区域

県道三島停車場線、市道愛染院祇園線及び市道鎧坂線に接する一番町内の区域内のまち並みや公共施設を対象区域としています。

安心して住まい集えるまち並みを創ります

市の顔となる通りとして“歴史と文化をいかした、人が住まい集うあかるく安心なまち”をコンセプトに、にぎわい、安心して住まい集えるまち並みを創り出し、将来にわたりこれを改善し、維持し続けるため、以下に掲げる方針に沿ってまちづくりを推進することにより、基本目標を実現します。

- ◆三島駅を出て最初に出会う商店街として、わくわくするまち並みづくり
- ◆にぎわいと親しみがあり、散策しやすいまち並みづくり
- ◆「昼」も「夜」も安心して人が住まい集える空間づくり
- ◆シンボルである愛染院跡の溶岩塚や、楽寿園の緑の空間をいかした潤いあるまち並みづくり
- ◆三嶋大社や旧東海道へ誘い、富士山や三島駅舎が迎えるまち並みづくり



▲詳細はこちら

ワークショップ（地区景観推進協議会）

景観重点整備地区指定に向けた説明会を令和2年9月に開催後、一番町まちづくり委員会と地区内の地権者の皆さんで「地区景観推進協議会」を組織しました。

令和2年10月から令和3年3月までに5回のワークショップを実施し、意見の取りまとめを行いました。



▲ワークショップの様子

公共施設の景観整備方針

歩道・街路灯・照明などは調和を意識したシンプルながらも華やかなデザインとし、親しみやすさや安心感を演出します。

愛染院跡は利用者が憩い、くつろぎ、にぎわいの拠点ともなるよう地域に開かれた広場空間とします。利用者が安心できるよう適度な緑を残しつつ、十分な滞留空間や歩行空間を確保します。



▲愛染院跡周辺の整備イメージ

「第6回三島市景観賞」の候補を募集します

市内の優れた景観を創出する建築物・看板や
景観に寄与する活動などを募集します

募集期間

8月1日(日)～8月31日(火)

対象

- ①市内にある景観形成に寄与する建築物や看板などで、過去10年以内に創造・再生されたもの
- ②景観形成に功績があると認められる活動を行った個人や団体

※自薦他薦は問いません。

申し込み

必要事項を記入した応募用紙に写真を添えて、郵送、直接、またはメールで都市計画課

☎411・8666 北田町4・47

✉toshikei@city.mishima.shizuoka.jp



▲詳細はこちら

問都市計画課 ☎983・2631



▲第5回（平成30年度）優秀賞 TICA



▲第5回（平成30年度）優秀賞 源兵衛川と水辺の径